

年 組 名前:

問1

山梨県の2022年コメの作況

指数と評価を教えてください。

- ・作況指数
- ・評価

問2

「やや良」となった都道府県は、7都県ありました。日本地図から探し、その都県を、すべて教えてください。

-
-
-
-
-
-
-

2022年産 水稲の作況指数



平年=100



農水省によると、県内のコメの作付面積は4820㌥で、前年より60㌥(1.2%)減ると予想。主食用の作付面積は前年より70㌥(1.5%)少ない4690㌥と見込む。10㌥当たりの予想収量は1㌥(0.2%)減の531㌥で、主食用の収穫量は400㌥(1.6%)減の2万490㌥とみている。

農林水産省は14日、2022年産のコメ(水稲)の県内作況指数(平年100)が9月25日現在で「やや不良」の97になるとの見通しを発表した。「やや不良」の評価は3年連続。農水省は「6月から9月にかけて断続的な日照不足に見舞われたことが影響した」とみている。

コメ作況「やや不良」
3年連続 日照不足が影響

22年産

農水省によると、県内のコメの作付面積は4820㌥で、前年より60㌥(1.2%)減ると予想。主食用の作付面積は前年より70㌥(1.5%)少ない4690㌥と見込む。10㌥当たりの予想収量は1㌥(0.2%)減の531㌥で、主食用の収穫量は400㌥(1.6%)減の2万490㌥とみている。

関東農政局によると、県内では特に6月の前半や8月中旬以降に日照不足が目立ち、生育に影響したとみられるという。主要産地の北杜市などを管轄するJA梨北によると、全体的に1週間から10日程度、収穫が遅れている状況もある。病害の発生は限定的という。

都道府県別の作況指数は、「良」、新潟、富山など7府県が「平年並み」、山梨や秋田、静岡、宮崎など11県が「やや不良」だった。

(2022年10月16日付 山梨日日新聞22面)

問3

作況指数から見た状況の都道府県数と、その全体の割合を教えてください。

(割合は、小数点第2位を四捨五入)

	良 (106以上)	やや良 (102~105)	平年並み (99~101)	やや不良 (95~98)
都道府県数		7		
全体の割合	%	14.9%	%	%